

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		地域福祉推進事業		担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3309	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	社会福祉法、深谷市地域福祉計画、深谷市一人暮らし高齢者等見守り活動事業補助金交付要綱					
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		社会福祉法に規定されている地域福祉計画に基づき、誰もが安心して自立した生活を送ることができる環境づくりを推進するため、互いに支え合う地域社会づくりを支援する。								
目的 ※何のために		年齢や障害に関わらず、誰もが安心して自立した生活を送ることができる環境づくりを目指すため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民、ボランティア、NPO、事業者、市、社会福祉協議会など、地域福祉にかかわるすべての人。								
手段 ※どのように		身近な場所で気軽に集まれる場の提供を推進する。また、地域での支え合いのしくみづくりや、高齢者等の安否確認など、地域の特性に応じた見守り活動を広げる。								
成果 ※何を求めるか		ふれあい・支え合い・助け合いによる地域福祉体制づくりを進める。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	地域福祉推進事業	76,092,677
本事業の 主な業務		・ 地域のお茶の間事業					・			
		・ 見守り体制の整備支援(地域支えあいマップの作成支援等)					・			
		・ 高齢者等見守り活動事業					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催	高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催	高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催	高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催	高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催	高齢者見守り補助金の交付 地域のお茶の間の登録 まごころ出張講座の開催
事業費	予算(現額)	6,543,000	3,379,000	7,395,000	2,893,000	130,462,000	243,549,000
	決算額	5,527,628	2,845,907	6,198,236	2,387,440	76,092,677	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	73,885,000	238,473,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	5,527,628	2,845,907	6,198,236	2,387,440	2,207,677	5,076,000
人件費	従事職員数(人)	1.75	1.57	1.01	1.06	1.25	1.38
	人件費相当試算※	13,613,250	12,217,740	7,939,610	8,624,160	9,702,394	11,221,260
総事業費試算		19,140,878	15,063,647	14,137,846	11,011,600	85,795,071	254,770,260

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	地域のお茶の間認定数		目標値	件	24	27	30	0	0	0
			実績値		26	27	28	28	26	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			第2次地域福祉計画の目標値（H31まで）						
	実績値の算出式									
活動指標 2	一人暮らし高齢者等見守り団体数		目標値	件	90	95	100	0	0	0
			実績値		82	82	81	78	73	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			第2次地域福祉計画の目標値（H31まで）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	支え合いマップ作成件数		目標値	件	201	200	200	199	199	0
			実績値		200	200	200	199	199	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市内全自治会						
	実績値の算出式									
成果指標 2	要援護者名簿登録件数		目標値	件						
			実績値		2991	2868	2702	2587	2481	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			民生委員が主として支援の必要な方を登録する制度のため、目標値設定に馴染まない。						
	実績値の算出式									
成果指標 3	見守りネットワーク協定締結事業者数		目標値	件	14	15	15	0	0	0
			実績値		16	18	19	20	20	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			第2次地域福祉計画の目標値（H31まで）						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	地域のお茶の間の認定数は昨年度と比較し減少しており、一人暮らし高齢者等の見守り団体数も減少傾向である。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	支え合いマップについては、地域の実情に応じて更新のサポートをしていく。また、見守りネットワーク協定締結事業者数については、昨年度と同様に20件となっている。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	まごころ出張講座で使用する地域支え合いマップの更新作業について、消防署と連携しWebGISを用いて作成している。今後も、地域の意向や実情に即した方法により地域福祉体制づくりを勧めていく。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域福祉推進事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3309
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>引き続き、まごころ出張講座による支え合いマップ更新作業の支援等、地域の意向や実情に即した方法により地域福祉体制づくりを勧めていく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>福祉政策課長 茂木 隆行</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

